

一括審議案件の概要について

平成28年8月1日
中部地方整備局

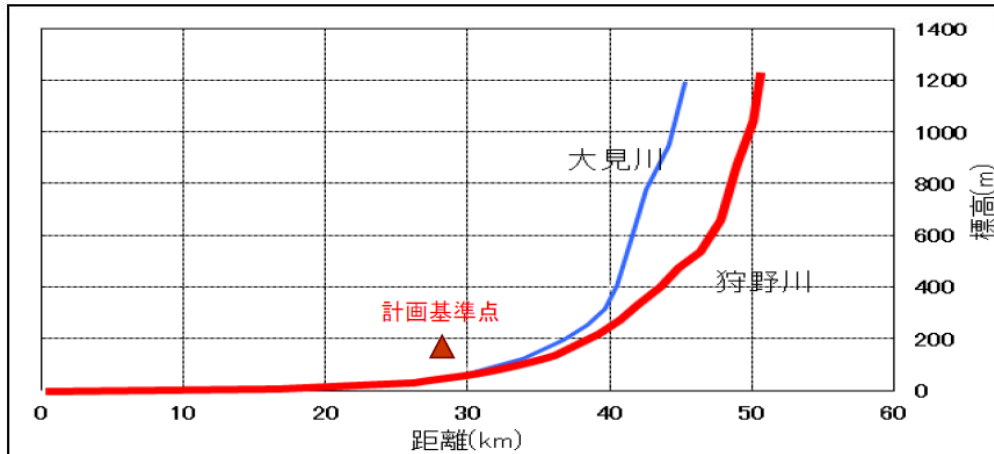
1. 事業の概要

1) 事業の概要

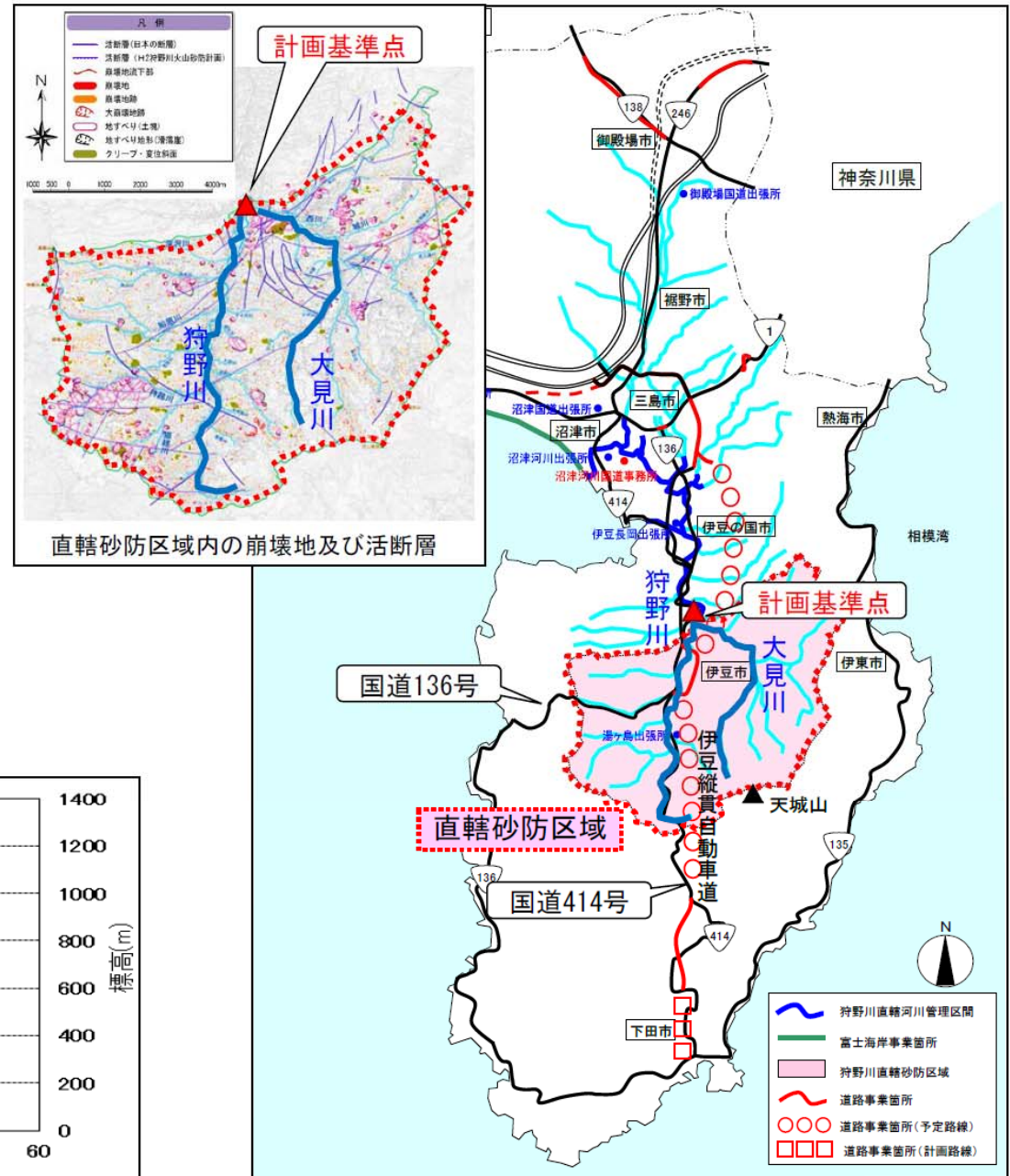
■ 狩野川砂防流域諸元

水 源：天城山
 流域面積：約270km²
かのがわ おおみがわ
 主要河川：狩野川、大見川

- ・ 活断層や火山堆積物等で構成される脆弱な地質と急峻な地形
- ・ 日本有数の多雨地域
- ・ 狩野川本川は伊豆市、伊豆の国市の中心市街地を北向きに流下
- ・ 緊急輸送路である国道136号、国道414号などが通り、伊豆縦貫自動車道を整備中



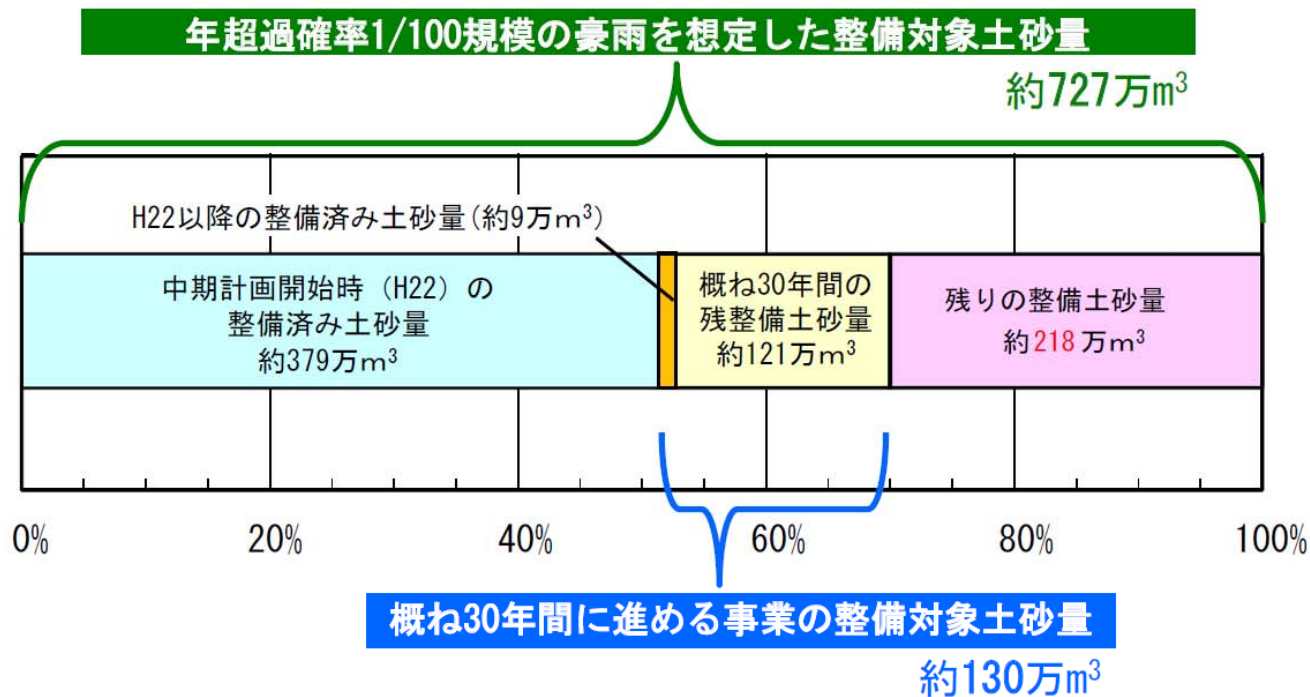
狩野川、大見川の河川縦断面図



2) 事業の目的及び計画内容

- 年超過確率1/100規模の豪雨時により、狩野川上流域から生産・流出する大量の土砂に対して、
 - 河道の土砂堆積による土砂・洪水氾濫を軽減する
 - 土石流災害による人的・財産被害を解消する(国道136号、414号等)

- 整備対象土砂量 (砂防計画基準点において流出抑制しなければならない土砂量)



- 概ね30年間に進める事業
既往最大(昭和33年)の土砂生産でも地域が安全となるよう砂防施設整備を進める

- 費用対効果 B/C = 7.1 (前回 平成25年度 事業評価時)

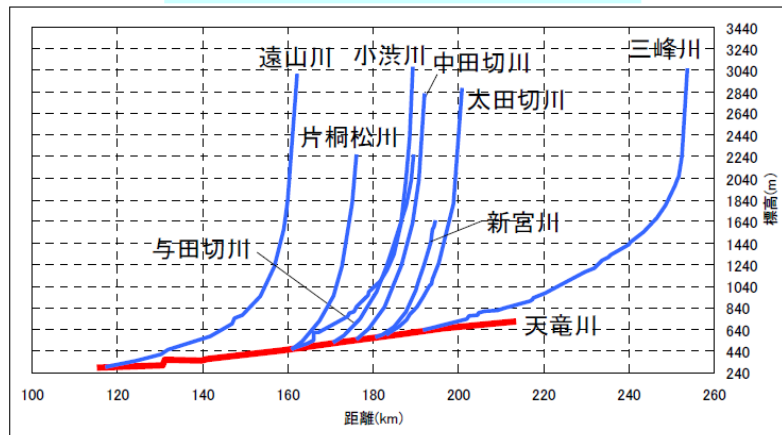
1. 事業の概要

1) 流域の概要

- ・対象流域の上流は急峻な地形で、荒廃地が分布
- ・各流域の下流では、国道152号、中央自動車道、JR飯田線など重要交通網が横断
- ・流域内には、美和ダム、小渋ダム、片桐ダム等の治水施設や発電所が分布

直轄砂防区域面積	： 約1,285 km ²
平均河床勾配	： 三峰川1/35、小渋川1/16、太田切川1/7、 ななたぎりがわ よたぎりがわ かたぎりまつかわ 中田切川1/9、与田切川1/13、片桐松川 1/10、新宮川1/14、遠山川1/24
直轄砂防区域内 市町村	： 長野県伊那市、駒ヶ根市、飯田市、上伊那 郡飯島町・宮田村・中川村、下伊那郡 まつかわまち おおしかむら てんりゅうむら 松川町・大鹿村・天龍村
年平均降水量	： 約1,700mm

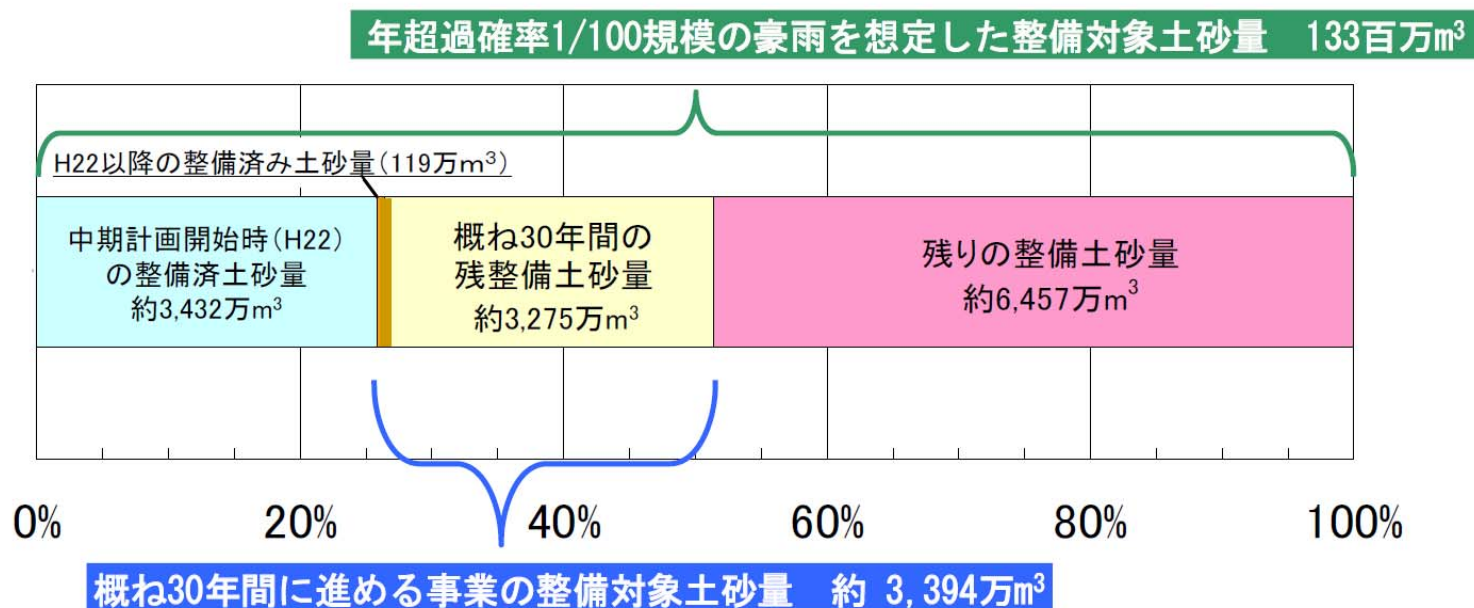
天竜川砂防流域の主要河川縦断図



2) 事業の目的及び計画内容

- 年超過確率1/100規模の豪雨時にも、天竜川水系の各支流から生産・流出する大量の土砂に対して、
 - 河道の土砂堆積による土砂・洪水氾濫を軽減する
 - 土石流災害による人的・財産被害を解消する(中央自動車道等)

■ 整備対象土砂量(砂防計画基準点において流出抑制しなければならない土砂量)



● 概ね30年間に進める事業

既往最大(昭和36年)の土砂生産での土砂流出でも、地域が安全となるよう砂防施設整備を進める。

■ 費用対効果 B/C=1.8(前回 平成25年 事業評価時)

1. 事業の概要

1) 流域の概要

■ 越美山系砂防流域諸元

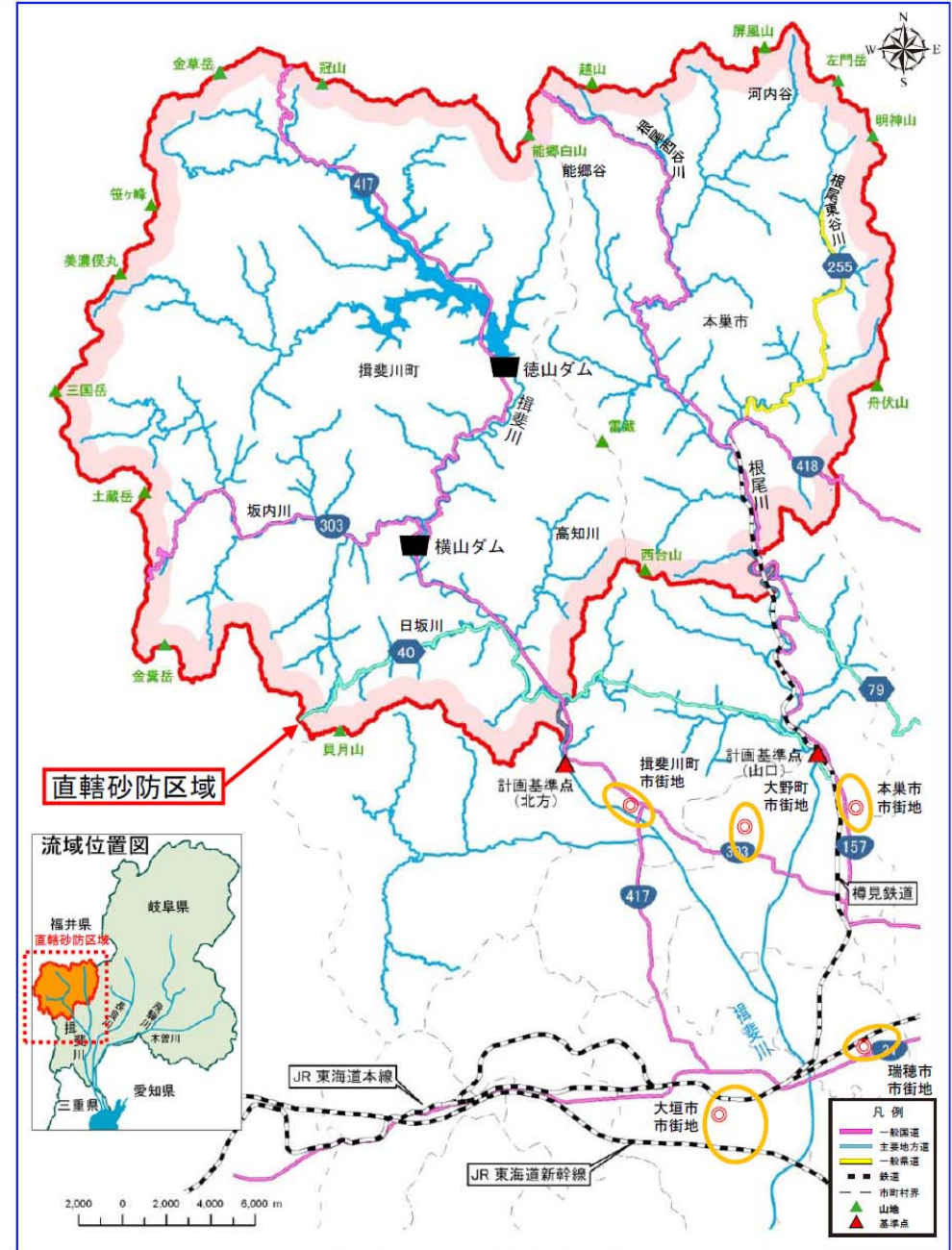
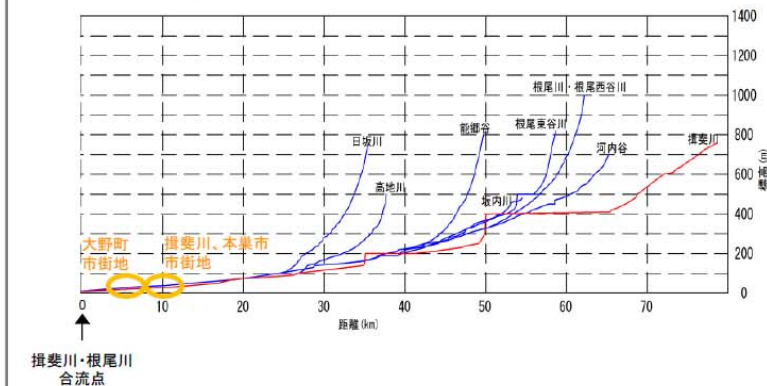
水源: 冠山(揖斐川)、能郷白山(根尾西谷川)

直轄砂防区域面積: 873.4km²

主要河川: 揖斐川、坂内川、日坂川、高知川、
根尾川、根尾東谷川、根尾西谷川

- ・ 揖斐川・根尾川の上流には、大規模崩壊地や土石流危険渓流等の荒廃地が分布
- ・ 計画基準点より下流には、市街地や国道21号、JR東海道本線等が分布
- ・ 揖斐川の上流には、横山ダム等の治水施設や発電所が分布

越美山系砂防流域の主要河川縦断面図

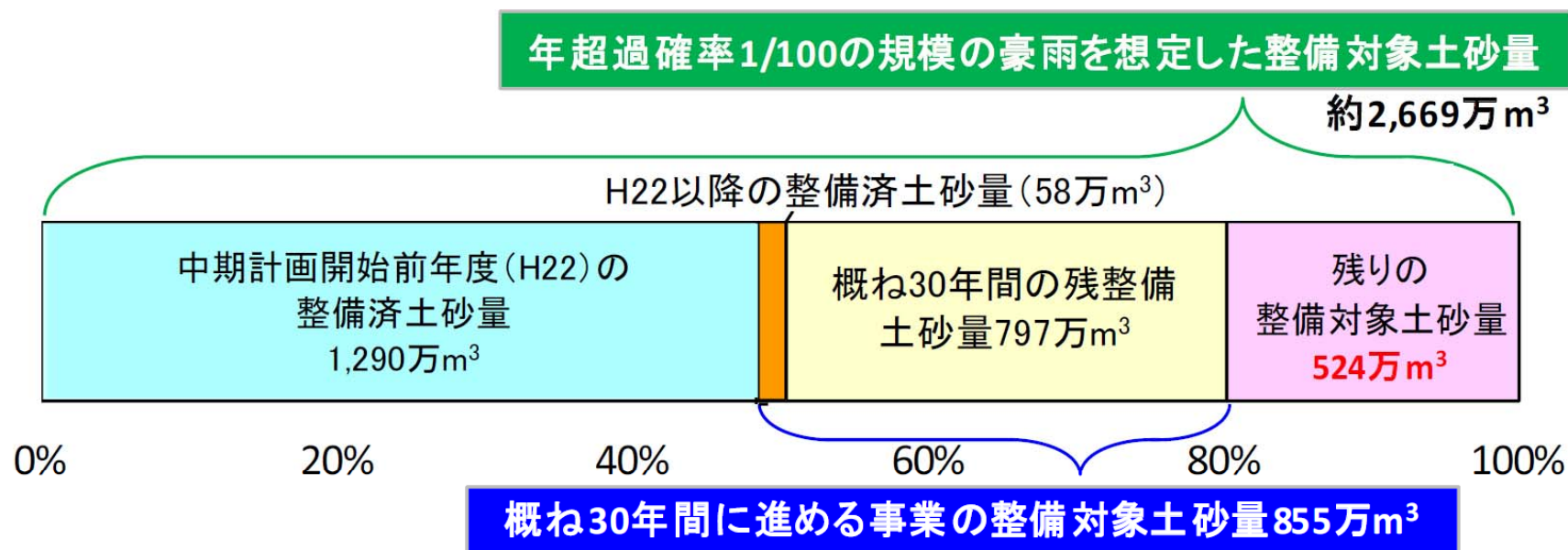


越美山系砂防流域図

2) 事業の目的及び計画内容

- 年超過確率1/100の規模の豪雨により、各支川流域から生産・流出する大量の土砂に対して、
 - ・河道の土砂堆積による土砂・洪水氾濫を軽減する。
 - ・土石流災害による人的・財産被害を解消する(国道157号等)。

- 整備対象土砂量(砂防計画基準点において流出抑制しなければならない土砂量)



- 概ね30年間に進める事業

平成元年9月災害規模および平成14年7月災害規模の土砂生産でも、下流域を含め地域が安全となるよう砂防施設整備を進める。

- 費用対効果 B/C=4.4 (前回 平成25年度 事業評価時)

1. 事業の概要

1) 地すべりの概要

■ 由比地区地すべり諸元

位置: 静岡市清水区由比西倉沢地内
 事業名: 由比地区地すべり対策事業
 区域名: 西倉沢地すべり防止区域
 防止区域面積: 60.98ha
 直轄告示: 平成17年4月1日

■ 地すべりブロックの状況

・由比地区地すべりは大きく4つのブロックに区分されます。そのうち現在主に対策を実施しているのは、A:山中ブロック、B:蜂ヶ沢ブロック、C:大久保ブロックの3ブロックです。



■ 地形地質

■ 糸魚川—静岡構造線の東側に位置する。

さった

■ 薩埵峠付近には小規模な複数の断層が集中しており、南北に伸びる薩埵峠向斜軸が分布する。

■ 東海地震の地震防災対策強化地域に含まれている。
 (今後30年間で発生する確率は88%と予想されている。)→地震調査研究推進本部(文部科学省,2011)

非常に脆い地質構造であり、豪雨や地震による災害の危険性にさらされている。

■ 地すべり対策事業の経緯

■ 由比地区地すべり対策事業では、平成17年度に直轄事業化されています。

年度	事業の経緯
平成15年1月	由比地区防災整備検討委員会開催
平成16年6月	由比地区地すべり対策検討委員会開催
平成17年1月	西倉沢地すべり防止区域追加指定
平成17年4月	由比地区直轄地すべり対策事業告示
平成17年4月	由比地区直轄地すべり対策事業着手
平成23年3月	抑止工着手
平成23年10月	排水トンネル着手
平成24年4月	西倉沢地すべり防止区域追加指定



事業箇所の位置図

2) 事業の目的及び計画内容

■事業の目的

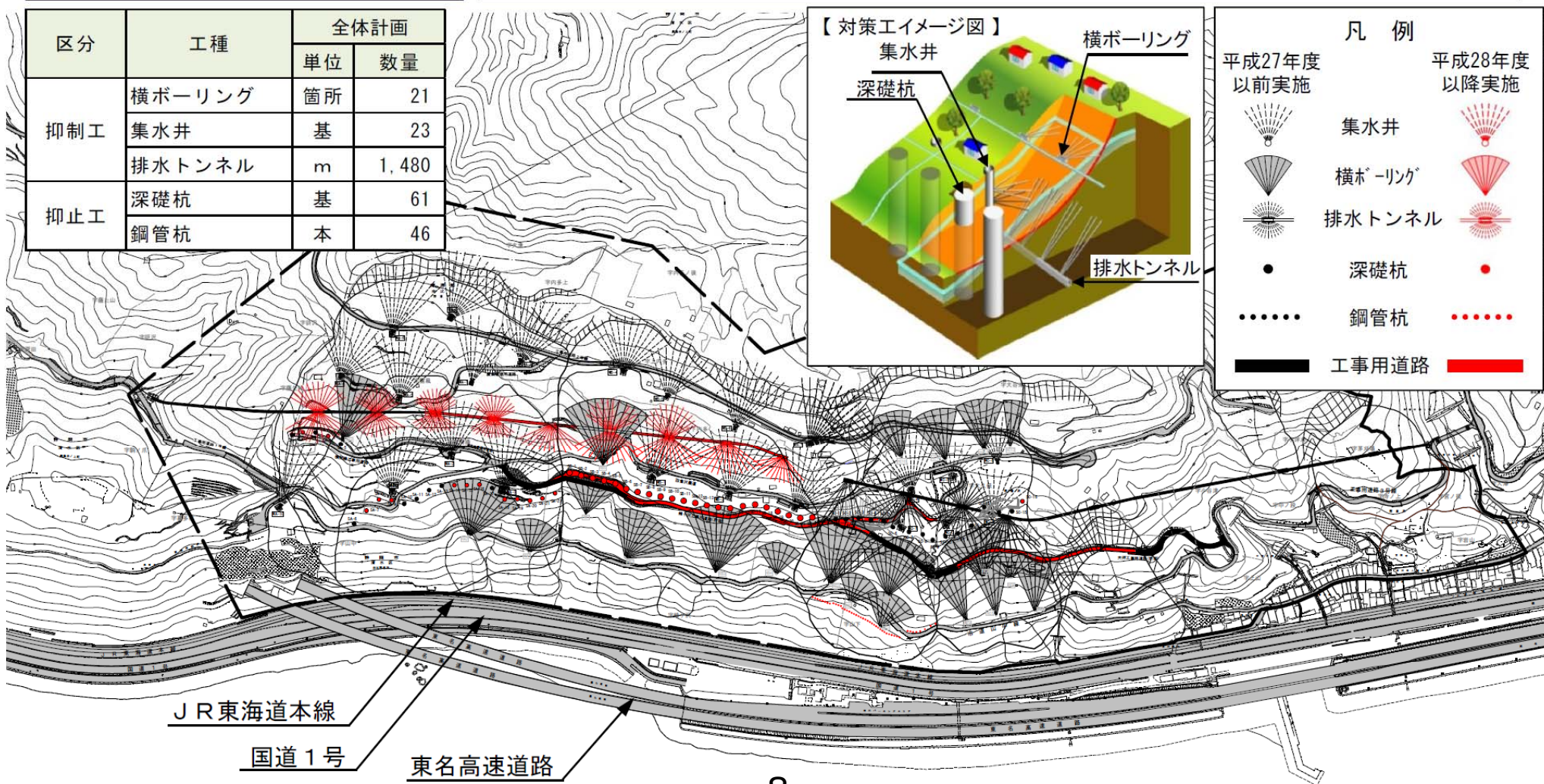
年超過確率1/100規模の豪雨や地震に伴い発生する地すべりから、住民の生命や財産、及び日本の大動脈である**国道1号・東名高速道路・JR東海道本線**の重要交通網の被害を防止する。

■費用対効果

B/C=5.1

※前回、平成25年度事業評価時

■平成16年に「由比地区地すべり対策検討委員会」を開催し、地すべり対策工法や地すべり全体計画を検討し、その結果に基づいて、平成17年度より地すべり斜面の安定性向上を目的とした抑制工・抑止工を施工しています。



一般国道1号島田金谷バイパス

(1)事業目的

しまだかなや しずおかけんしまだしのだ かがわしさをよしか
一般国道1号島田金谷バイパスは、静岡県島田市野田から掛川市佐夜鹿に至る延長10.4kmのバイパスであり、交通容量の確保による交通渋滞の緩和、並行する県道等の交通円滑化を目的に計画された道路です。

国道1号島田金谷バイパスの大井川渡河部付近では、渋滞箇所が点在しており、通勤時間帯を中心に渋滞が発生すると共に、並行する大井川渡河部においても混雑が発生しており、本事業は課題解決のために4車線化整備をすることで、島田市街地や大井川渡河部の交通混雑の緩和、沿線地域における物流の効率化等への寄与を見込んでいます。

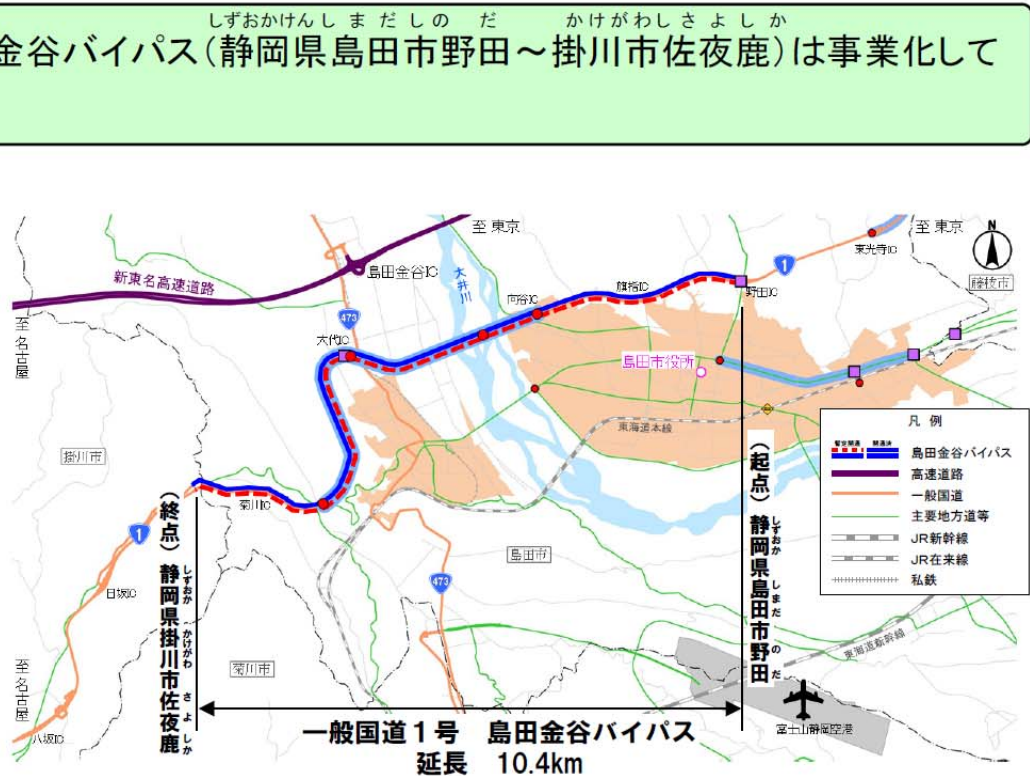


一般国道1号島田金谷バイパス

(2) 計画概要

昭和55年度に全線暫定2車線開通し、平成24年度に島田金谷バイパス(静岡県島田市野田～掛川市佐夜鹿)は事業化しています。

事業名	一般国道1号 島田金谷バイパス
道路企画	第3種第1級
設計速度	80km/h
車線数	4車線
都市計画決定	昭和45年度
事業化	平成24年度
用地着手年度	平成26年度
工事着手年度	平成26年度
延長	10.4km
全体事業費	240億円
B/C	5.6



標準断面図

